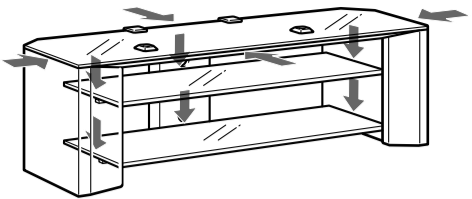


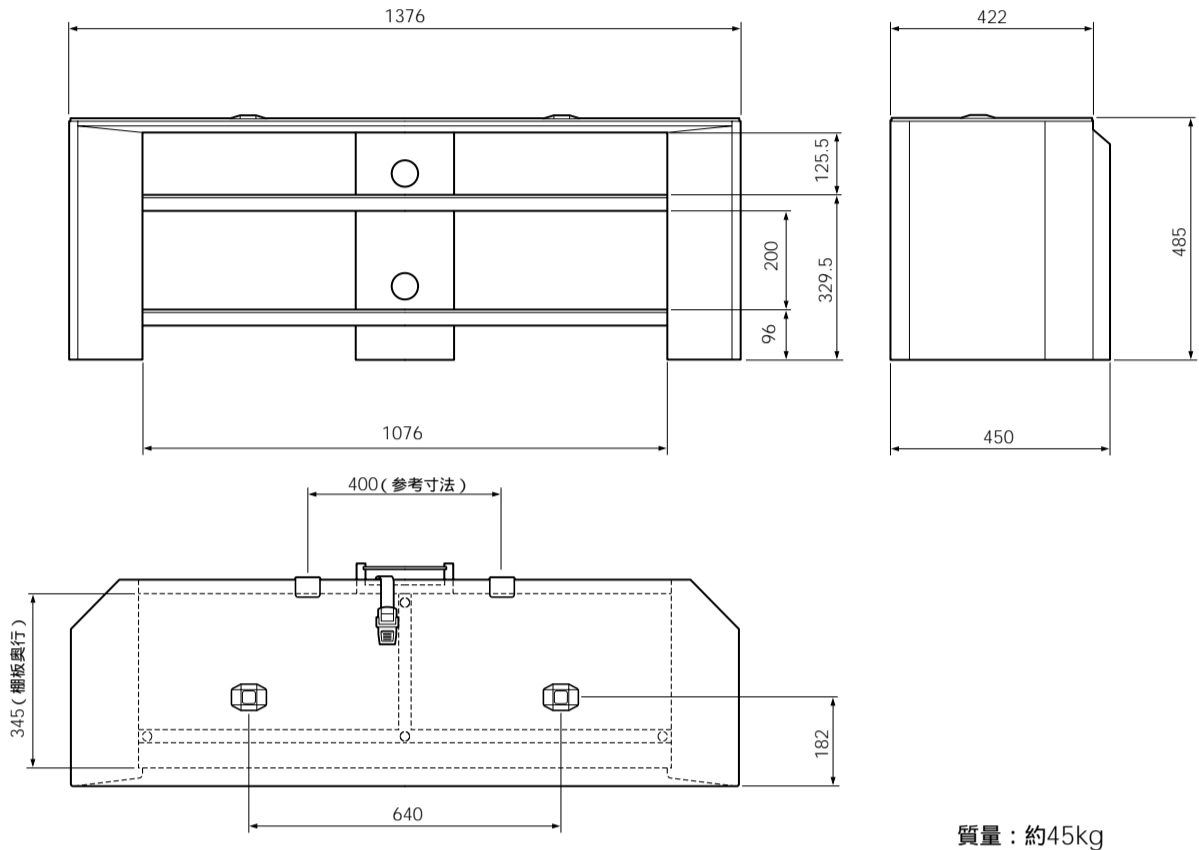
使用上のご注意

- ガラス板を取り付けるときに、ガラス板と側板や裏板、天板との隙間 (図の矢印の部分) に指などはさまないよう注意してください。
- 設置場所について
設置場所によってはテレビスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 堅くて平坦な床面への設置
 - 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない
- テレビスタンドを移動するときは、テレビや棚板の上の機器を降ろしてから、必ず2人以上で運んでください。またそのときは必ず天板の木材部分を持つようにしてください。ガラスの部分を持つと、ガラスがはずれたり、割れたりして危険です。
- 熱いものを直接テレビスタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。
- ガラスに傷をつけるようなものを直接置かないでください。
- 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。



主な仕様

単位：mm



質量：約45kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

| | | |
|------------------------------------|--|----------------------------|
| ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35 | | |
| お問い合わせはお客様ご相談センターへ | | |
| ● ナビダイヤル..... |  0570-00-3311 | 受付時間： 月～金 9:00～20:00 |
| (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます) | | |
| ● 携帯電話・PHSでのご利用は..... | 03-5448-3311 | 土・日・祭日 9:00～17:00 |
| ● Fax | 0466-31-2595 | |

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。

SONY

4-078-736-03 (1)

テレビスタンド

SU-50DX

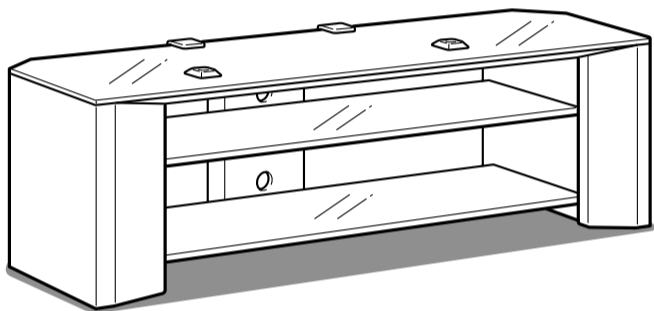
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

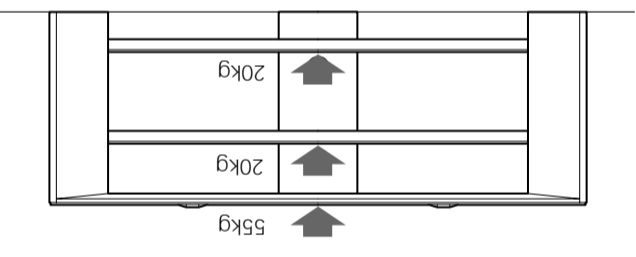
警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドはソニーのGRAND WEGA(グランドベガ) 専用のテレビスタンドです。
棚板にはビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどを収納するように設計されています。

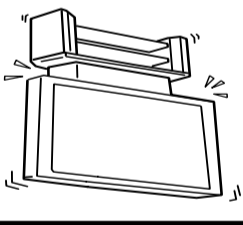


Sony Corporation © 2000 Printed in Japan




総重量についてのご注意

載せる機器の総重量が95kgを超えないようにしてください。また、それぞれのガラス板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。ガラス板が割れることがあります。



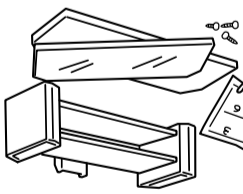
載せる機器の総重量は、指定の質量を超えないようにします。

（下図を参照してください。）




テレビを固定する

固定しませんでした。テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。この取扱説明書にしたがい、テレビの足を位置決めテープに合わせて、固定ヘルプを使ってテレビの転倒を防いでください。



組み立ては、組み立て手順に従ってしっかりと組み立てる

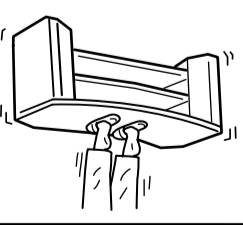
ネジがゆるんでいたり抜けていますと、テレビスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。特に裏板はテレビスタンドの歪み防止のため必ず取り付けてください。



このテレビスタンドは指定のテレビ専用です

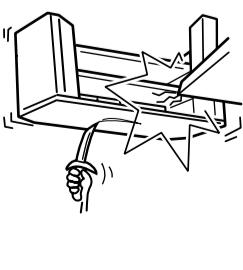
指定外のテレビや重い物を載せますと、すべて落ちて落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

- 指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かない。
- このテレビスタンドを改造しない。



踏み台にしない


倒れたり、落ちたり、けがの原因となることがあります。



ガラス板に強い衝撃を与えない

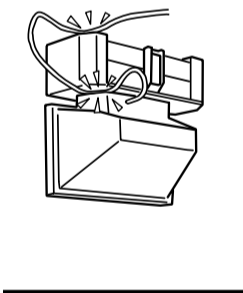
テレビスタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、まちがった使いかたをすると割れることがあります。破片が飛び散りがけの原因となりますので下記のことをお守りください。

- 鋭利な物で傷をついたり、ガラス面を突いたりしない。
- 物をぶつける、物を乱置に置くなど、強い衝撃を与えない。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意

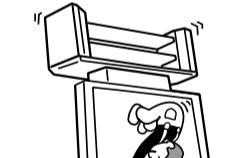


テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

・ テレビなどをテレビスタンドに載せるとき、電源コードをはさみまないようにする。

・ テレビスタンドを動かすとき、テレビスタンドで電源コードを踏まないようにする。

コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



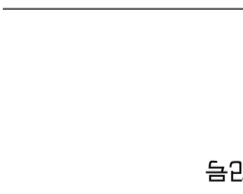
テレビスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下からない

テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。



警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

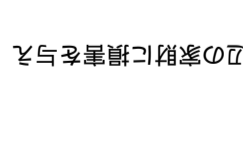
火災 **感電**



注意を促す記号

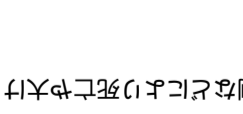
行為を禁止する記号

火災 **感電**

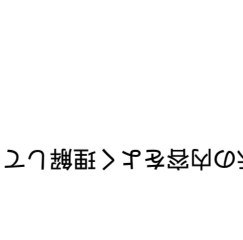


注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



警告


この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。

下記の内容をよく読んで、表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

取扱説明書では、次のような表示をしています。

警告表示の意味

されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などから本文をお読みください。



警告

安全のために

手順1：組み立てに必要な部品を確認する

| 名 称 | 数 量 | 名 称 | 数 量 | 名 称 | 数 量 |
|------------|----------------------|-------|-----|---------|-----|
| 天板 | 1 | 裏板 | 1 | T字型フレーム | 2 |
| 天ガラス板 | 1 | 裏蓋 | 1 | ネジ | 10 |
| 側板A 側板B | 側板A 1 側板B 1 | ガラス棚板 | 2 | 棚ダボ | 4 |
| | | | | ガラス止め金具 | 2 |

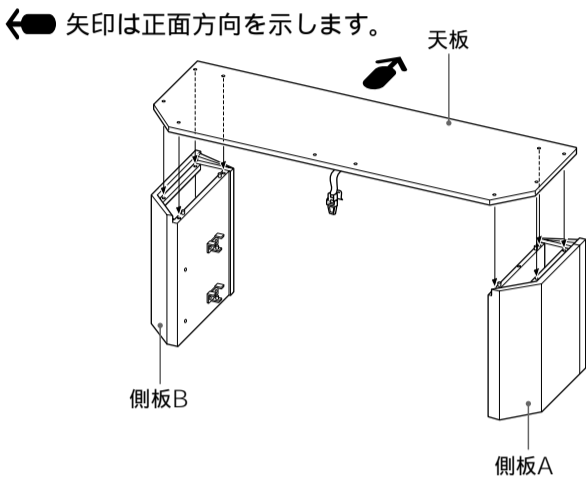
- 組み立てる前に＋ドライバーをご用意ください。
- 金属製のフレームやガラスなどを取り付けるときは、けがをしないよう充分ご注意ください。
- フレームに取り付けてあるガラス滑り止めゴムは、取らないでください。

手順2：側板を並べる

天板に合わせて側板A / Bを並べる。
天板に合わせて置くと正確な位置に並べられます。位置が決まったら天板を取りはずしてください。

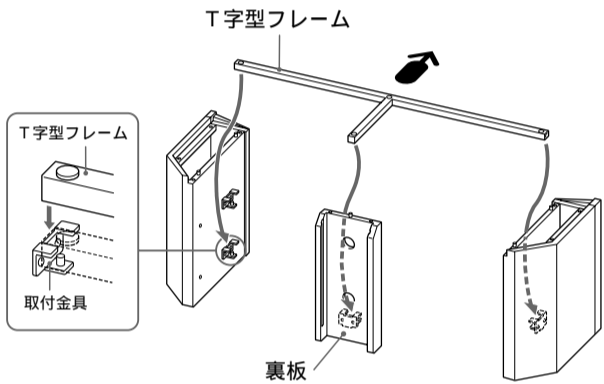
ご注意

天板は重いので取り扱いに注意してください。



手順3：下側ガラス棚板を取り付ける

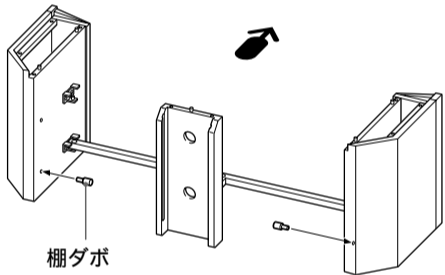
- 裏板を置き、裏板、側板A、側板Bのそれぞれの取付金具の突起に、T字型フレームの穴を合わせて取り付ける。
3か所ともに確実に入っていることを確認してください。



- 側板の下側の穴に棚ダボを差し込む。

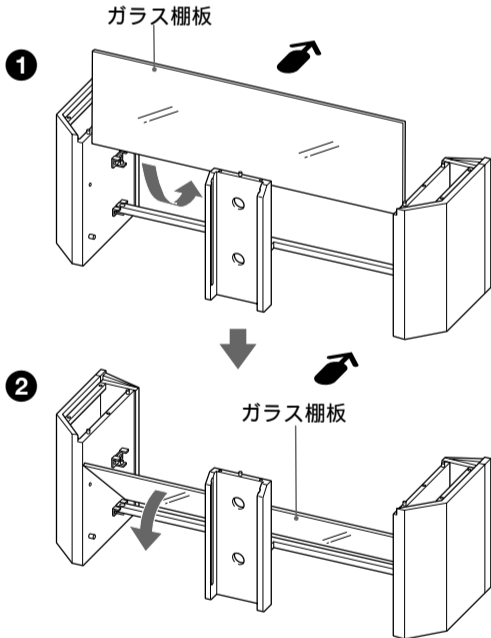
ご注意

- ガラス棚板保持のため、棚ダボは必ず取り付けてください。
- 棚ダボが抜けにくいように、穴が小さめに作られています。棚ダボが完全に入るまで、棚ダボを回しながら強く押し込んでください。最後まで入らないときは、棚ダボをハンマーなどで軽くたたきながら入れてください。



- 下側ガラス棚板をT字型フレームの上に置く。

- 下側ガラス棚板を立てて、取付金具の後ろを通すように入れる。



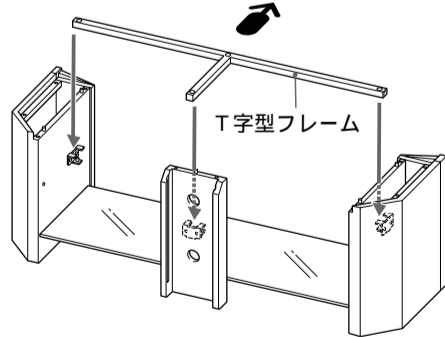
- 下側ガラス棚板をゆっくりと横に傾け、T字型フレームの上に静かに置く。
取付金具に注意しながら、ガラス棚板の下側が前方に、上側を後方に寝かせるようにしてガラス棚板を置きます。

手順4：上側ガラス棚板を取り付ける

- 裏板、側板A、側板Bのそれぞれの取付金具の突起に、T字型フレームの穴を合わせて取り付ける。
3か所ともに確実に入っていることを確認してください。

ご注意

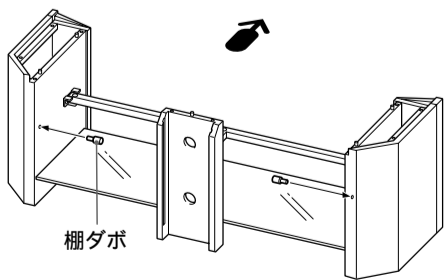
T字型フレームを取り付けるときは、フレームをガラス棚板に当たらないように注意してください。



- 側板の上側の穴に棚ダボを差し込む。

ご注意

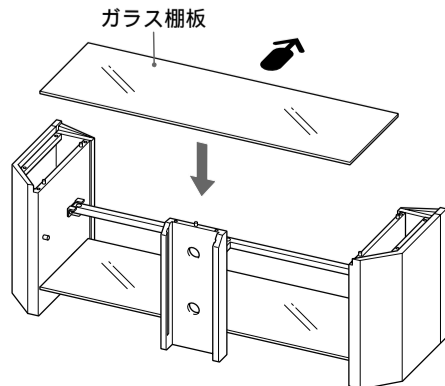
- ガラス棚板保持のため、棚ダボは必ず取り付けてください。
- 棚ダボが抜けにくいように、穴が小さめに作られています。棚ダボが完全に入るまで、棚ダボを回しながら強く押し込んでください。最後まで入らないときは、棚ダボをハンマーなどで軽くたたきながら入れてください。



- 上側ガラス棚板をT字型フレームの上に静かに置く。

ご注意

割れたガラスを踏むと大けがの原因となりますので、ガラス棚板を取り付けるときには、下側のガラス棚板を踏んで割らないように注意してください。

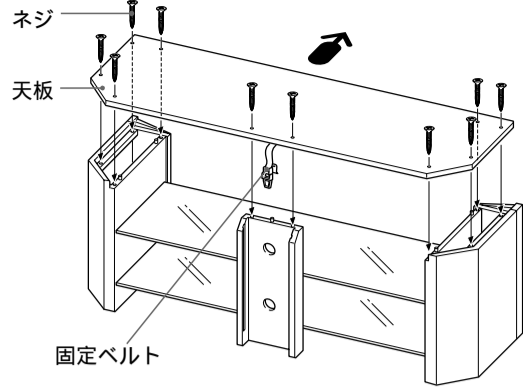


手順5：天板と天ガラス板を取り付ける

- 天板を置き、ネジを締め付ける。

ご注意

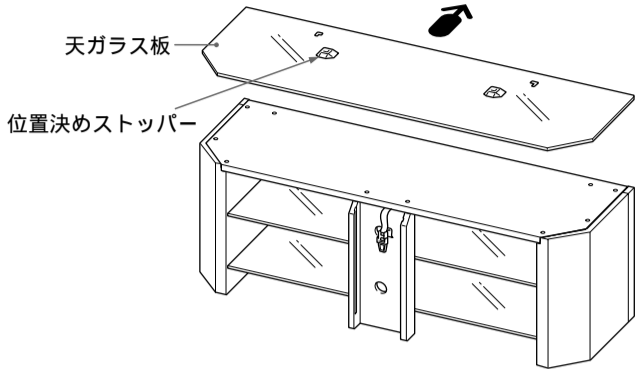
- 割れたガラスを踏むと大けがの原因となりますので、天板を取り付けるときには、下側のガラス棚板を踏まないように注意してください。
- 固定ベルトが、本体の内側に入らないよう注意してください。
- 天板をネジ止めするときは、ネジの頭が天板から出ないようにしてください。



- 天ガラス板を取り付ける。
位置決めストッパーが上面になるように、天ガラス板を静かに置き、天板の端からはみ出さないように位置を調整します。

ご注意

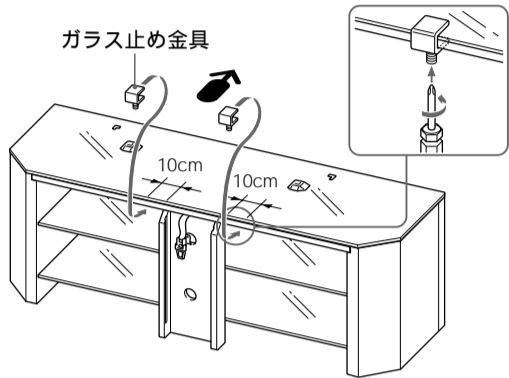
- 割れたガラスを踏むと大けがの原因となりますので、天ガラス板を取り付けるときには、下側のガラス棚板を踏んで割らないように注意してください。
- 天ガラス板を取り付けるときには、側板の角などに当てないように取り扱いには十分注意してください。



- ガラス止め金具を取り付ける。
ガラス止め金具を裏板の両端から約10 cm離して取り付け、固定ネジを締めます。

ご注意

- ガラス止め金具の固定ネジが下になるように取り付けてください。
- 固定ネジを締めすぎないように注意してください。
- 固定ネジを締めたあとガラスが動かないことを確認してください。



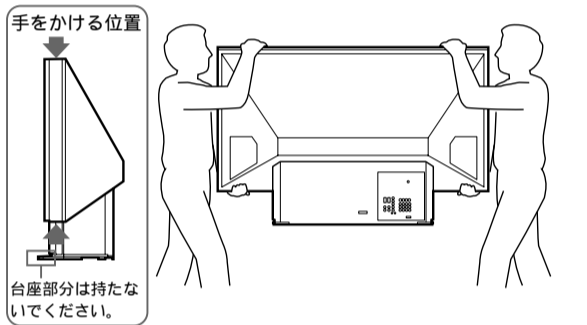
手順6：テレビを置く

- スタンドを設置位置に移動させ、テレビを置く。

持ちかた

手をかける位置

台座部分は持たないでください。



置かかた

位置出しラベル
(KDF-50HD700用)

位置出しラベル
(KL-50DX700用)



- テレビを置くときは、必ず2人以上で、運んでください。台座部分や前面パネルは持たないでください。台座部分や前面パネルがはずれることがあります。
運ぶときは、図のように片手を側面の下側にかけ、もう一方の手で前面上部を支えて運んでください。
- KDF-50HD700を設置するときは、あらかじめ内側にあるKL-50DX700用位置出しラベルをはがしてください。

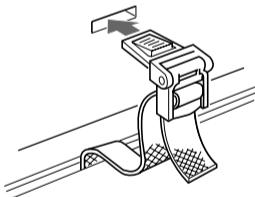
- テレビの足が位置決めストッパーの内側に入るように正しく載せ、ストッパーの上にのり上げていないか、確認してください。
- 天ガラス板の位置出しラベルにテレビ前面の台座部分を合わせると、テレビを簡単に置けます。

ご注意

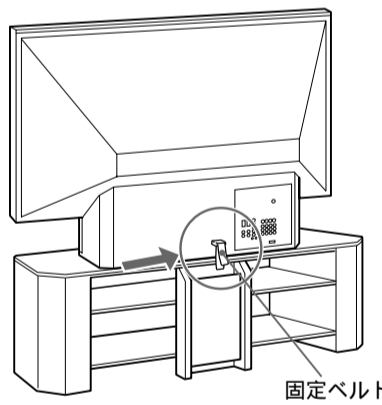
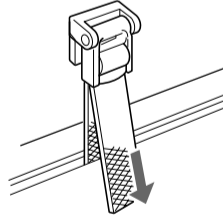
- テレビの電源コードを、天板とテレビの間にはさまないように注意してください。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビを載せるときは、天ガラス板を割らないように静かに置いてください。
- 割れたガラスを踏むと大けがの原因となりますので、テレビを載せるときは、下側のガラス棚板を踏んで割らないように注意してください。

- テレビの背面に固定バックルを取り付ける。

- バックルをテレビの背面の穴に差し込む。
カチッと音がするまで入れてください。

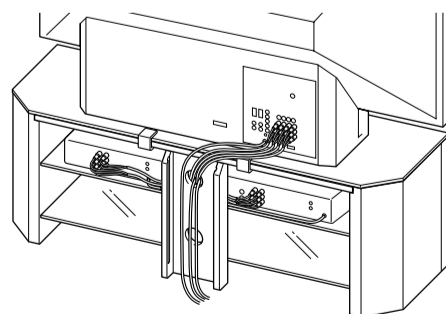


- たるみがなくなるまでベルトを引く。
必ず固定ベルトのバックルを差し込んでください。バックルを差し込んだら抜けないかどうか確認してください。



手順7：ビデオ機器などを設置する

ビデオ機器などを設置する。
お手持ちのビデオデッキなどを入れて、裏板の穴を通して配線し、テレビと接続してください。



手順8：裏蓋を取り付ける

裏蓋を取り付ける。
裏蓋を黒い面が外側になるようにして裏板の溝に沿って差し込んでください。

ご注意

- 裏蓋を取り付けるときは、コード類を傷付けないように注意してください。
- コード類が多いときは無理に裏蓋を付けないようにしてください。

